



ふじあざみ

【特集】

TEC-FORCE

Technical Emergency Control FORCE

～ 創設10年を迎え ～

FUJI SABO news

No.

108

平成30年12月

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

■ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

大規模な自然災害等に際して、被災自治体に対し、被災状況の迅速な把握、被害の拡大防止、被災地の早期復旧等に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために平成20年4月に創設され、本年で10周年を迎えました。

災害時には国土交通省災害対策本部長の指揮命令系統のもと、全国の地方整備局等の職員が活動します。

平成30年4月現在、中部地方整備局職員の内1,396名が隊員として任命されています。

TEC-FORCEは、これまで東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨など89を超える災害に、のべ7万人を超える隊員を派遣し、被災地の早期復旧にあたってきました。



平成23年 東日本大震災



平成26年8月豪雨



平成27年 関東・東北豪雨



平成28年 熊本地震

TEC-FORCEの役割

台風や豪雨、そして地震や津波、火山の噴火などの大規模自然災害が発生した際には、自治体職員だけでは対応が難しい場合があります。TEC-FORCEは専門技術力や機動力を活かし、いち早く被災地へ出向き、被災した自治体を応援・支援します。



被災状況調査



排水ポンプ車による排水作業



散水車による路面清掃作業



清龍丸による支援活動

富士砂防事務所からは、
の発生・拡大の防止、被災



平成25年 台風



平成26年 台風8号

平成30年度 富士砂防事務所からのTEC-FORCE派遣

平成30年7月豪雨での活動の様子

■平成30年7月豪雨では富士砂防事務所から5名を派遣しました。
広島県呉市、広島県三原市において、土砂崩れ等による被災状況調査を行い、広島県へ調査結果の報告を行いました。
(活動期間：7月18日～7月24日)



住民への聞き取りの様子



溪流の被害状況調査



被災状況調査（レーザー距離計）



被災状況調査（ドローン）



広島県へ調査報告書を提出

北海道胆振東部地震での活動の様子

■平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震では、5名を派遣しました。震度7を記録した厚真町において被災状況調査を行い、厚真町へ調査結果の報告を行いました。
(活動期間：9月11日～9月17日)



被災状況調査（ドローン）



被災状況調査
（レーザー距離計）



調査結果とりまとめの様子

富士砂防事務所からの創設以来10年間のTEC-FORCE派遣

創設以来13の災害に53名の隊員を派遣し、被災状況の迅速な把握、被害地の早期復旧などの支援を行ってきました。



台風第26号



平成26年 8月豪雨



台風第8号及び梅雨前線



平成29年 九州北部豪雨



ドローンを使った被災状況調査

富士砂防事務所からのTEC-FORCE派遣人数まとめ

	年 月	災 害 名	派遣人数
1	平成20年 6月	岩手宮城内陸地震	4
2	平成20年 7月	岩手県沿岸北部地震	1
3	平成21年 8月	駿河湾地震	3
4	平成23年 3月	東日本大震災	6
5	平成23年 8月	台風第12号	5
6	平成25年10月	台風第26号	3
7	平成26年 7月	台風8号及び梅雨前線	3
8	平成26年 8月	広島土砂災害	4
9	平成26年 9月	御嶽山噴火	4
10	平成28年 4月	熊本地震	6
11	平成29年 7月	九州北部豪雨	4
12	平成30年 7月	平成30年7月豪雨	5
13	平成30年 9月	北海道胆振東部地震	5
計 (人)			53

活動の様子

地震では富士砂防事務所から被災地において、斜面崩壊による被害の調査報告を行いました。



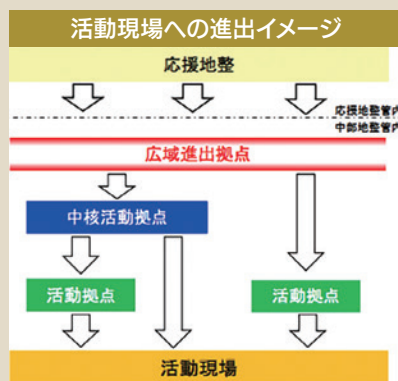
斜面崩壊状況
(ドローンによる空撮写真)



厚真町長へ調査報告書を提出

全国のTEC-FORCEが結集し、被災自治体を支援

大規模災害が発生した際に、全国から派遣されるTEC-FORCEの活動計画を具体的に定めたTEC-FORCE活動計画(受援計画)を策定しています。中部地方(静岡、長野、岐阜、愛知、三重)では、日最大約950人のTEC-FORCEと約280台の災害対策用機械を全国から集結させ被災自治体を支援する計画となっています。富士砂防事務所も活動拠点の1つとなっています。



全国から集結したTEC-FORCE隊員
(平成30年 北海道厚真町)



全国から集結した災害対策用機械
(平成23年 宮城県仙台市)

土砂災害から命を守るために

■土砂災害防止に関する講座のご案内

静岡県と山梨県では、土砂災害から生命、財産を守り「日頃の備えと早めの避難」を心がけていただくため、ハードとソフト両面にわたる総合的な対策の概要を説明したり、防災知識の普及のため、地域住民や小中学生等を対象とした土砂災害防止に関する講座を実施しています。

【静岡県への申込みはこちら！】

静岡県砂防課、もしくはお近くの土木事務所に申込みください！

静岡県砂防課

検索

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/>



【山梨県への申込みはこちら！】

山梨県のHPからお申込み下さい！

山梨県 県政出張講座

検索

<https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/50021814987.html>



イベント報告

■9/3 山梨県災害対策本部総合図上訓練に参加

富士山の噴火を想定した山梨県災害対策本部総合図上訓練が山梨県庁、富士吉田合同庁舎で行われ、中部地方整備局、富士砂防事務所も訓練に参加しました。



■10/24 JICA研修員が視察

JICA研修員（インド国）の防災関係者が由比地すべり対策事業を視察されました。深礎杭工事や排水トンネル工事で行われている先進技術の状況をご覧頂きました。



■11/1 建設コンサルタンツ協会の「砂防講習会」に参加

建設コンサルタンツ協会による「砂防講習会」において、富士砂防からも「富士山における火山砂防の取り組み」と題して講演させて頂きました。



■11/10 「しずおか建設まつり」に参加

静岡市主催の「しずおか建設まつり」に「富士山防災教室」としてブース出展させていただきました。絶好の天気に恵まれ大盛況のなか、当ブースにも多くのみなさまにお立ち寄りいただきました。模型等による体験やパネルをご覧いただき、幅広い年齢層の方に楽しく学んでいただくことができました。



■11/14 フーちゃん公園で秋の収穫

潤井川流路工周辺に整備した「フーちゃん公園」で、工事受注者で構成される富士宮砂防出張所工事安全協議会会員と富士宮市立上井出保育園園児30名が、6月に植え付けを行ったサツマイモの収穫を行いました。



■11/17 「ふじBousai2018」に参加

富士市主催の「ふじBousai2018」にブース出展させていただきました。幅広い年代の方々に富士山噴火シミュレーターや土石流模型実験装置を体験していただき、砂防について楽しく学んでいただくことができました。



●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

編集作成 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544 - 27 - 5221 FAX 0544 - 27 - 8759
E-mail cbr-fujisabo@mlit.go.jp 担当/用地課

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9

■由比出張所

〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-1（清水港湾合同庁舎6階）

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「現場見学・出前講座」の欄をご覧ください。

★ふじあざみのバックナンバーは富士砂防事務所HPからご覧いただけます。

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

協力： 静岡県 砂防課
山梨県 砂防課



公式Twitter始めました

TEL 0544 - 54 - 0236

TEL 054 - 355 - 1205

「ふじあざみ」は土砂災害による死者0を目指し、土砂災害への理解を深め、地域防災力を高めることを目的として発行しています。

また、掲載内容等は、現時点のものであり、今後、内容に変更が生じる場合もあります。